

# 95 チュウヒ

(タカ目)

*Circus spilonotus*

兵庫県ランク: A

繁殖個体群:Ex 越冬個体群:A 通過個体群:A

環境省ランク: EN

## 種の概要

シベリア中部から中国北東部、日本北部などで繁殖し、北方のものは繁殖後アジア東部の温帯から熱帯域に渡り、越冬する。日本では主に北海道で繁殖し、本州以南で越冬するが、本州の一部では周年生息し繁殖するところがある。湿原や広いヨシ原、草原、農耕地に生息する。低空飛行で獲物を探し、小型鳥類や小動物、魚類などを捕食する。

## 国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、舩倉島、佐渡、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、宇治群島、上三島諸島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島、大東諸島

## 県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★尼崎市、西宮市、★伊丹市、相生市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、★宝塚市、三木市、高砂市、加西市、★丹波市、★南あわじ市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、稲美町、太子町

## 主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○	○			○	○	○	○	○

## 県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に10-翌4月に生息する。個体数は少ないものの、かつては周年生息していた。営巣が確認されていたのは赤穂市だけだが、複数個体の記録がある加古川市や姫路市、豊岡市などでは繁殖していたと考えられている。近年は開発により広大なヨシ原が消滅したため繁殖記録はなく、冬期に渡来する少数の個体が観察される程度になっている。

## 保護上の留意点

広い面積のヨシ原の保全および積極的な再生が重要。



写真提供：北野光良

(性別：不明)



写真提供：友田達也

(性別：メス)



写真提供：友田達也

(性別：メス)